

代表者名	代表取締役 太田 実	所管部課	河北総合支所地域振興課
所在地	石巻市小船越字二子北下1番地1	設立年月日	平成16年10月22日

1 設立目的・経過

本社は、「地域産業の活性化」「雇用促進」「福祉の推進」をテーマに、平成17年3月にオープンした道の駅「上品の郷」の管理・運営を行うことを主たる目的に設立。
(平成16年10月22日設立)

2 出資・出捐状況 (単位:円)

区分	出資・出捐金額	比率
石巻市	45,000,000	89.20%
他自治体	0	0.00%
その他	5,450,000	10.80%
計	50,450,000	100.00%

3 経営状況 (単位:円)

損益計算書(P/L)				貸借対照表(B/S)		
売上高又は当期収入額合計	経常利益(損失)又は当期正味財産増加(減少)額	当期利益(損失)	減価償却費	総資本/資産合計	他人資本/負債合計	自己資本/資本合計
426,234,417	26,374,461	0	0	185,621,333	104,355,296	81,266,037

4 財政支出 (単位:円)

調査対象法人への財政的支援					委託事業	
補助金交付額	貸付金残高	損失補償限度額	損失補償契約に係る債務残高	債務保証契約に係る債務残高	事業内容	委託料(人件費含む)
0	0	0	0	0		0

5 組織

①役員数

常勤		1
	うち市OB	0
	うち市職員	0
非常勤		4
	うち市OB	0
	うち市職員	1
計		5
	うち市関係者	1

②職員数

常勤		14	
	うち市OB	0	※正職員
	うち市職員	0	平均年齢
非常勤		0	42.0歳
	うち市OB	0	平均勤続年数
	うち市職員	0	3年8月
計		14	
	うち市関係者	0	

6 評価指標/評価一覧

指標	計算式	数値	過去3年平均伸び率等	評価	
健全性	①自己資本比率	自己資本/総資本 ※土地開発公社除く	43.8%	—	標準
	②流動比率	流動資産/流動負債	172.1%	—	良好
	③補助金比率	補助金/売上高(経常収益)	—	—	—
	④果積欠損金	自己資本-資本金 ※マイナスの場合	—	—	—
目的適合性	⑥収益事業比率	収益事業の事業費/全事業費 ※公益認定を受けた法人のみ	—	—	—
収益性採算性	⑥経常利益	経常利益(損失)又は一般正味財産増減の部の当期経常増減額	26,374,461	3年連続黒字	良好
	⑦売上高伸び率	売上高(経常収益)の対前年比	106.1%	102.1%	標準
効率性	⑧管理費比率	管理費/経常費用 ※一般社団法人又は一般財団法人のみ	—	—	—
	⑨人件費比率	人件費/売上高(経常収益)	29.6%	99.9%	標準

7 事業実績及び効果

平成21年度は全般的な景気低迷の中、7割の企業が経営に苦慮している状況であります。このような中でどう対応すべきか協議を繰り返しながら、その対策として数多くのイベント実施と、各マスコミを活用しての上品の郷のPRに力を注ぎ、また、上品の郷そのものが一つの観光施設となるべく取り組んで参りました。来店頂いたお客様に温泉入浴、地場産品バイキングの昼食、帰りがけに直売所やコンビニでのお買い物といった一日コースの提示なども行ってあります。メインである野菜はエコファーマーを取得し、安心安全な商品に取り組み、一方ではトレーサビリティの公表、生産者にはリアルタイムな生産情報の提供をし、品切れ防止に努めています。
地域社会への貢献、施設の管理保全の視点から評価され公共建築賞優秀賞を授与されました。また、警察業務の重要性を理解し積極的に協力した事で河北警察署からも昨年に引き続き表彰を受けました。
経営面については今後とも、利用者満足度の高いサービスを提供し、施設運営の継続性、安全性を確保して行くとともに、節減合理化に努め、効率的、効果的な運営を行ってまいります。
又、社員教育については、毎月2回元ホテル佐勤の総括マネージャー熱海茂夫氏の実地指導と社員協議を行っており、毎日仕事を始める前にサービス七大用語とサービス社訓を朗唱し、おもてなしの心と思いやりの心でお客様に接し、併せてプラスワンとしてお褒めの言葉を加えることにより社員一同リピータづくりに努力しております。

☆従業員研修実績

- ・総務 管理者セミナー(石巻商工会議所) 年末調整研修会(税務署)
- ・コンビニ 酒類販売管理者研修(税務署) たばこ販売研修(日本たばこ)
- ・保養施設 救命訓練
- ・直売所 んめーべ・道の駅 安達視察(福島) 野菜栽培指導(渡辺採取場) 年3回 農工商連携研修
- ・社員 救命訓練
- ・全体 避難訓練

☆(株)かほく・上品の郷(平成21年度利用者数・売上げ)

- ・コンビニ 150,879人(86,445,371円)
- ・直売 353,916人(466,045,509円)
- ・レストラン 108,747人(85,983,130円)
- ・保養施設 301,020人(167,123,845円)
- 合計 914,562人(805,597,855円)

8 経営上の課題、問題点等

三陸道延伸の影響により、一時は通勤客を中心に三陸道シフトとなり3割程客が減少しました。その対策として、10円饅頭、宝くじ販売、上品ソング、幻の豚まん、北海道フェア等話題となる取り組みを行い、マスコミで取り上げて頂き、寄ってみたい道の駅となるよう取り組んでおります。現在では、イオン界隈の都会的雰囲気と日赤救急が登米圏に拡大し、石巻圏域が広がりをを見せております。それをチャンスとして積極的に売り込みを展開するなら成果が上がると考えております。又、行政との連携について三セクは一方では公共的サービスを又、一方では利潤追求をと非常に難しい立場となります。特に上品の郷は石巻観光の4割の来客があり、尚且つ三陸道インター近くでありますので、それらを巻き込める企画を行政と一体となり実施するなら高評価が高くなると思われれます。今後の展開として、グリーンツーリズム、生産体験との連携を行い、地域と一体となる取り組みの発信地としていきたいと考えております。リピーターが多く、道の駅の顔となるよう成長し、次の代まで長く愛される施設にしていきたいと考えています。それには社員ランク第一位に尚且つ、清潔感が濃い、又、笑顔と感謝の心でプラスワンにお褒めの言葉を加え、来る人が楽しくなる店作りを目指して参りたいと考えております。売上向上のために、何でも売っている店、お客が何を求めているのか知る店、いかに地元定着型をつくりあげるか、安定したリピーターの多い店として成長していけるよう努力致します。

9 総合評価

① 概ね安定している。 ② 経営課題の検討を要する。 ③ 経営改善を要する。
平成20年度では、対前年比で減少していた売上高(経常収益)が増加に転じるなど、経営状況は安定している。開業して5年が経過し、今後は、施設の修繕や改修等への対応が重要となることから、将来を見据えながら、指定管理のあり方や施設維持管理の手法などについて検討しておく必要があるものとする。